

令和3年度

自己評価報告書

学校法人 薬師の杜学園

山形美容専門学校

令和4年2月

令和3年度 自己評価報告書

学校法人 薬師の杜学園
山形美容専門学校

令和3年度 自己評価について

学校法人薬師の杜学園山形美容専門学校は、前身の山形厚生専門学校に美容科を開設したのを始まりに66年間、業界発展と人材育成を趣旨とし人材育成に努めて参りました。卒業生は8,271名となり県外・県内はもちろん、海外でも活躍しています。

本校ではより良い学校運営を実施することを目指して、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にして自己評価に取り組んでおります。

評価にあたっては、今後も教育の質向上にこの評価結果を活かし、時代に対応できる人材作りと業界に貢献できる学生の育成に努めて参ります。

1 対象期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 実施方法

(1) 校内に「自己評価委員会」を設置し、委員会を中心に評価を行っております。

委員会構成 : 委員長 学園理事長

委員 校長、教頭、教務主任、事務局長、事務主任

(2) 評価は、「専修学校における自己評価ガイドライン」を参考に行っています。

(3) 評価は、年一回2月に行います。

(4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行います。

3 自己評価の項目：自己評価は、以下の9項目について実施します。

(1) 教育理念・目標

(2) 学校運営

(3) 教育活動

(4) 学修成果

(5) 学生支援

(6) 教育環境

(7) 学生の受け入れ募集

(8) 財務

(9) 法令等の遵守

4 評価項目に対する評価

評価は、4～1の4段階で表します

段階	4	3	2	1
評価	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切

評価項目1 教育理念・目標

教育理念

心の化粧 真の美しさを求めて

- 1 多くの知識と技術を学ぶことに合わせ、内面の美しさを求めて自分自身に「思いやりの心」を常に持つことを理念とし「心豊かな美容師」を育成
- 2 人間力を身につけて、「業界で求められる人材」の育成
- 3 美容全般をトータルで学び「幅の広い技術力」を身につけて適応力のある学生を育成

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	理念・目的・育成人材像は定められているか。	4
b	学校における職業教育の特色を明示しているか。	4
c	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	学則に於いて明確に定め、目的、育成人材像も教育理念に明示されているが、学生への周知を徹底するため、式典や授業の中でも繰り返し伝えていく。
b	教育理念に明示されている。
c	適切な情報を瞬時に取り入れ、社会のニーズに対応できるよう努力している。今年度から導入した探求型選択コースもより専門的な学びに繋がっている。

評価項目2 学校運営

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4
b	事業計画に沿った運営方針が策定されているか。	4
c	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか。	3
d	人事、給与に関する制度は整備されているか。	3
e	教務・財務等の組織は整備されているか。	4
f	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	運営方針は明確でありそれを基に事業計画を策定している。
b	事業計画に沿った運営方針が策定されている。
c	運営組織は評議員会、理事会で決定され運営組織や意思決定機能は十分効率的であるが、役員の実選において学校への理解を深めてもらう必要があるため今後は人選を重視する必要がある。
d	就業規則を始め各種諸規程を明確に定め整備されているが、休日の取り方など働き方改革制度に沿って改善策を取っている。しかし、新規雇用の給与規定などマニュアル化されていない部分もある。
e	教育に必要な事業費、人件費、その他の経費は法人の積算方法により作成され、理事会で審議されている。
f	履修簿管理システムのバージョンアップを行い、業務の効率化を図っている。

評価項目3 教育活動

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4
b	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4
c	関連分野の企業・関係施設等・業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか。	3
d	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置付けられているか。	3
e	授業評価の実施・評価体制はあるか。	4
f	教育活動に関する外部関係者からの評価を取入れているか。	4
g	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4
h	資格試験の指導体制、カリキュラムの中で体系的にシステム化されているか。	4
i	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めており全教職員の意識統一はなされている。さらに外部からの意見も取り入れている。
b	法定時数に則った教科科目と時間の編成である。必修科目、選択科目については必要性の根拠をはかり適切に編成している。
c	関連業界の方々や卒業生の意見、評価を聞き入れカリキュラム改善に取り組んでいるが、こちらからの積極的な聞き込みはまだ少なく、改善の余地もある。
d	現場の美容師を通しカリキュラムや教育内容の見直し等の情報交換を適宜行っているが、実践的な授業は少ない。今年度はサロン実習にも取り組み、今後も学生達への意識向上に繋げたい。更に1年次からの早期実習等、実施時期の検討もしていく。
e	授業のマンネリ化を修正するためにも実施・評価体制は必要と考えられる。学生に実施する「授業内容評価アンケート」の結果をもとに教員、講師と面談しながら、問題点の改善に努めている。
f	学校関係者評価委員会を立ち上げ、意見を聞く等し積極的に取り入れている。今後は就職先の雇用主の意見も取り入れていく努力をしていく。
g	学則や成績評価基準に於いて明確に規定している。
h	資格試験に対する計画的なカリキュラムの組み方をしている。基準に達しない学生への強化指導に努め、教育水準の向上を目指している。
i	資格試験のある外部研修への参加に取り組み、勤勉意欲の高い教員の確保に努めている。次年度以降も若い教員の採用についても検討の余地がある。

評価項目4 学修成果

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	就職率の向上が図られているか。	3
b	資格取得率の向上が図られているか。	4
c	退学率の低減が図られているか。	3
d	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	例年100%の就職率であるが、新型コロナウイルスの影響で、県外サロンへの見学ができない事や、学生が望むサロンと選ばれる人材とのミスマッチが生じなかなか決まらない事案もある。技術だけでなく内面の魅力も向上できるような教育も必要視される。
b	国家試験では、学科、実技ともに弱点に早く取り掛かり高い合格実績を上げている。他検定試験については、学生自身が挑戦するものを優先順位を考えながら選ぶ傾向になっている。
c	退学者を出さないように保護者、担任、校長が連携し学生指導に努力しているが、明確な目的がなく入学した学生は他業種への進路変更のため退学へとつながってしまうケースがある。
d	卒業生については、学生の来校時に情報を収集すると共に、サロンのオーナーからの連絡やガイダンス時に情報を収集している。さらに、就職先のサロンへ郵送にて3年間の離職調査を行う等活動・評価の把握に努めている。

評価項目5 学生支援

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4
b	学生相談に関する体制は整備されているか。	4
c	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4
d	学生の健康管理を担う体制はあるか。	4
e	保護者と適切に連携しているか。	4
f	卒業生への支援体制はあるか。	3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	就職説明会等を開催している。担任が責任持って担当し見学や面接日程を決めている。しかし、コロナ感染拡大のため県外サロンの来校が難しくリモートでの説明会になったため、伝わりにくい部分もあったと感じる。
b	担任、事務職員、校長が親身に対応する等学生相談に応じている。
c	学費の分納制度を導入。遠隔地の学生に対し、住宅賃貸補助制度の実施。日本学生支援機構奨学金や日本政策金融公庫等の教育ローンも紹介している。
d	学校医を選任し、健康診断を実施。保健室も整備している。
e	保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っている。学期ごとに保護者宛に成績を通知している。必要に応じて担任が現状報告又は面談を行いながら連携を図っている。また、LINEによる連絡でコロナ感染の状況や修学支援の情報等を共有している。
f	相談内容によって親身に対応している。再就職等については情報提供や具体的な紹介を行っているが、本人からの報告がない場合は把握が難しい。来校時に情報提供や相談に応じているが、卒業生が相談しやすい環境づくりも必要と考える。

評価項目6 教育環境

(1) 評価

評価項目	評価(4~1)
a	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか。 3
b	学内外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか。 3
c	防災に対する体制は整備しているか。 3

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	教育上の必要性に対応できるよう整備している。教室以外の食事のスペースの確保や、選択技術対応の実習室が少ないため、整備することによりもっと時間の合理化が図れる。
b	校内に模擬実習室を設け授業の中で活用しているが、現場に直結するサロン実習等学外の学習機会が不足しているため、サロン実習を導入し実践教育を強化する。
c	警備システムを導入し防災対策を講じている。避難訓練の日程も毎年同じ日時ではなく、冬の避難経路を考え足元の悪い季節にも設定するなど多岐に及ぶ場合を想定して行う。

評価項目7 学生の受け入れ募集

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	学生募集活動は適正に行われているか。	4
b	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。	4
c	学生納付金は妥当なものになっているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	学生募集活動は適正に行われている。学生募集活動は業者開催のガイダンスを調査した上で選別し、広報・募集活動の内容については今後も真実性・明瞭性には特に留意していく。情報はHPにて随時更新し、最新の情報提供に努めている。
b	正確且つ具体的な情報提供に心掛け、学校案内やホームページ上で公表している。
c	学生納付金は経費内容に対応して算定し、他県の同分野校と比較しても妥当と考える。

評価項目8 財務

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	3
b	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	4
c	会計監査が適正に行われているか。	4
d	財務情報公開の体制整備はできているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	現状は安定している。余剰金については、学生が減少した時も繰り入れ出来るように、毎年基本金に繰り入れしている。今後、施設の修繕等の積み立ても必要と考える。
b	予算作成のため、科目ごとに積算書や全体の収支計画書を作成し、半年ごとに執行状況を見極め、必要な場合補正予算を組む等して現状に対応している。
c	毎年監事より監査を受けている。 公認会計士に委託して指導を受けている。
d	ホームページで公開している。

評価項目9 法令等の遵守

(1) 評価

評価項目		評価(4~1)
a	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
b	個人情報に関しその保護のための対策が講じられているか。	4
c	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4
d	自己評価結果を公表しているか。	4

(2) 評価の根拠、課題と改善策

a	法令・基準の遵守は当然の義務と認識しており、適正な運営に努めている。
b	個人情報については、「個人情報の使用に関する承諾について」署名・捺印をもらい、利用、管理については万全を期している。
c	問題点の改善には努めているが、中長期的に時間を要するものもある。
d	ホームページで公開している。